（別添資料１）

事業所名　大崎むつみの里第２事業所

支援プログラム

作成日　7 年　3 月　3 日

法人（事業所）理念		子どもの成長と子どもを取り巻く環境に焦点をあて、一人ひとりに合った適切な支援を行います。									
支援方針		１　子ども・保護者の立場で考え支援します。 ２　子どもの成長に合った療育を提供します。 ３　人権擁護・虐待防止に積極的に取り組みます。 ４　地域の子どもたちを支えていきます。									
営業時間		9 時	0 分から	16 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり　なし				
		支　援　内　容									
本人支援	健康・生活	**「生活リズムを整えよう」** 決まった時間・曜日に通園し、日中安定した生活（または　様々な活動）を送ることで、食事・排泄・睡眠等のリズムを整えていきます。 食事では、楽しい雰囲気の中でいろいろな物に触れる・食べる経験を重ねます。 生活の中で身支度や片付け、着脱等、基本的な動作の習得に向け、スモールステップで取り組みます。									
	運動・感覚	**「身体をたくさん動かそう」** 日常生活において基本となる動作を、活動を通して習得できるよう支援します。 お子さんの状況に合わせた遊びの中で、微細運動・粗大運動・バランス感覚など様々な動きの獲得や経験をしていきます。 楽しく活動ができるように、室内遊びだけでなく園庭・公園など季節に合わせた活動を行い経験を広げていきます。 【関連するあそび】運動遊具・さんぽ・水あそび　など									
	認知・行動	**「『わかった！できた！』を重ねよう」** 環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援します。 【関連するあそび】お絵かき・制作・感触あそび（粘土・スライム・小豆）　など									
	言語・コミュニケーション	**「気持ちを伝える力を育てよう」** 様々な活動や人との関わりを通して、自分の気持ちを伝えられるように支援します。 伝えることの喜びや相手の気持ちを受け入れ、言葉の基礎につながるようコミュニケーションの力を育てます。 【関連するあそび】読み聞かせ・しゃぼん玉・おままごと　など									
	人間関係・社会性	**「人との関わりを楽しもう」** 集団生活やあそびを通し、大人や仲間との関わりの中で自信と意欲を育て発達をうながすとともに人との関わりを身につけていきます。 【関連するあそび】ふれあいあそび・ごっこあそび・ルールのあるあそび など									
家族支援		◦面談や電話、連絡帳等で日常的に連携を図ります。 ◦親子通園日を通して保護者にお子さんの集団での様子を知っていただくと共に、一緒に情報の共有をします。 ◦専門職による保護者勉強会を実施します。（ST、心理） ◦懇談会を年３～４回実施し、保護者同士の交流の機会を設けます。				移行支援	◦希望に応じて近隣にある私立・公立２園の保育園と交流保育を行います。（年少～年長） ◦保護者の希望に応じて、幼稚園や保育園への転園に引継ぎを行い連携します。 ◦就学時、就学先の学校等との連携を図ります。				
地域支援・地域連携		◦地域ボランティアの受け入れ（絵本の読み聞かせ、花いっぱい運動） ◦児童センターへの発達相談 ◦地域行事への参加（緑区民祭り、グリーンフェスティバル） ◦区保健センターの親子教室 ◦未来くるワークの受け入れ				職員の質の向上	◦法人内で階層別・テーマ別研修を実施します。 ◦大崎むつみの里内部研修を実施します。 ◦施設内内部研を実施し、実務における技術向上を目指します。 ◦積極的に外部研修に参加し、一人ひとりの見識を広げます。				
主な行事等		【運動会、むつみ祭、芋ほり、遠足（春・秋）、参観日（年２回）、お楽しみ会（子供の日、クリスマス）、誕生日会、卒園式、健康診断、歯科健診、懇談会（各クラス年２回） 音楽療法、総合防災訓練、アート作品展】									